

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

屏風ヶ浦地区は区内でも高齢化率が比較的高い地域である。狭い道が多く戸建が中心であるが交通の便が悪い。高齢の方がケアプラザまで足を運ぶ事が難しくなっており、屏風ヶ浦地区全体で「移動」について課題がある地域とも言える。汐見台地区は社宅等がなくなった後に新しいマンションが次々建設され、地区の人口推移として年少人口、生産人口は増加している。しかし高齢者数が減る事はなく、高齢者世帯(単身)も多い為、総合相談件数も増加している。汐見台からケアプラザまでは下りの坂道となっており、ケアプラザまで足を運ぶのが難しい個別相談に対しては訪問対応を行っている。また、エレベーターの無い団地においては上層階に住む方々の高齢化に伴い、汐見台においても「移動」については課題と捉えることができる。両地区とも昔から住む世代と転入されてきた若い世代との関わりについては課題を感じている様子があり、また地域活動や自治会町内会活動に若い世代の参加が少ないことから担い手不足となっている。担い手の発掘は両地区において重要なキーワードとなっている。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☒	☐	地域アセスメントや貸室団体、事業参加者などへの積極的な働きかけや広報誌での呼びかけなどによって取り組みに必要な担い手を増やしていく。
☒	☐	フレイル予防についての周知活動において、フリー！フリー！フレイル予防のパンフレットを活用。またケアプラザの広報の中でフレイル予防についての情報提供回数を増やす。
☐	☒	Ayamuの更新に伴い、活動情報の確認、公開の可否等について再度アセスメントを行う。また必要に応じて各事業へ参加し、地域情報収集に繋げていく。
☐	☐	
☐	☐	

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

○Ayamuの更新をきっかけに職員交代の挨拶と活動の内容や活動のきっかけなどをお伺いすることが出来た。また、1回は活動に参加、又はお手伝いさせていただいたこともあり、包括相談からのマッチングにも繋がった。
フレイル予防に関しては、サポーターさんの活動の支援をする為に、新たにサポーターさんになった方達へ活動見学等の機会をコーディネートした。○広報紙での呼びかけによって事業を手伝ってくださる新しい担い手の方も増え、これまでとはまた違ったやわらかい雰囲気なども感じられ、事業も順調に開催された。○自治会・老人会でのミニ講座、ケアプラザ文化祭などフレイル予防のパンフレットを用い、普及啓発することができた。またケアプラザの広報については媒体の見直しが進んでおり、SNSの利用を通じてフレイル予防について情報提供することができた

☐ 区からのコメント

主任児童委員との共催事業や文化祭などケアプラザの機能と実践を生かした地域活動の丁寧な支援に感謝しています。また、地域福祉保健計画の策定にもご尽力いただきありがとうございました。来年度からの地区別計画推進に向けて、引き続きよろしくお願い申し上げます。

新たな担い手の登録・参画が進み、その成果は認知症サポーター養成講座や地域ケア会議(買い物マップの作成等)にも着実に波及しています。移動が難しい地域を中心に、出前講座や訪問支援を丁寧に進めていく中で、地形的な集まりにくさを踏まえ検討されている認知症支援関連の取組は、地域における支え合いの基盤をさらに強化する取組として意義があると思います。こうした実践が、今後も地域全体の支援体制の充実につながっていくことを期待しています。